

新年あけまして おめでとうございます



新たに成長する節目の一年に

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は市議会活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、^{ピョンチャン}平昌冬季オリンピックでは、フィギュアスケートの羽生結弦選手の連覇をはじめ、様々な競技で過去最多のメダルを獲得しました。

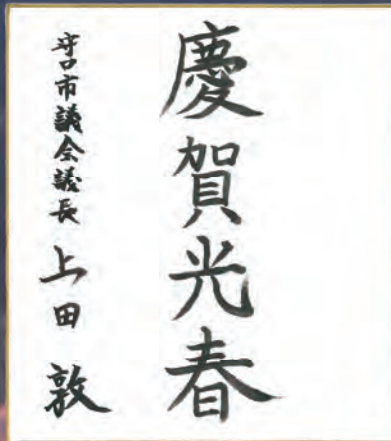
また、サッカーでは、ロシアW杯で、男子代表がベスト8まであと一步のところまで迫り、テニスでは、大坂なおみ選手が四大大会である全米オープンのシングルスで日本勢初の優勝を果たしました。そして、将棋界では、藤井聡太棋士が史上最年少で7段を獲得し、野球では、大谷翔平選手が投打の二刀流で大リーグの年間最優秀新人選手に選ばれるなど、私たちに興奮と感動、そして元気を与えてくれました。

その反面、本市も含めた日本各地では、地震や台風、豪雨が市民生活に被害を及ぼし、自然災害の恐ろしさを肌身に痛感するとともに、日頃の備えが大事であることを再認識させられました。

さて、本市では、去年は、大枝公園の再整備をはじめ、学校や保育所の統合による新しい学校やこども園の開設、南部、東部の2箇所でエリアコミュニティセンターが開館されるなど本市の魅力を高め、市民生活の向上とさらなる市政の発展に向け、一步一步着実に事業を実施しているところです。

市議会といたしましても、議決機関として、その役割と責任の重さを自覚し、子どもから高齢者まで誰もが安心して豊かに暮らせるまちの実現に向け、鋭意取り組んでまいりまいますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支である^{いのしし}亥は、十二支最後の動物で、無病息災の縁起が良い動物とされています。また、5月からは元号も変わりますが、どうか本年が市民の皆様にとって、健康で新たに成長する節目の一年となりますよう心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



守口市議会議長 上田 敦



笑顔があふれるまちの実現へ

市民の皆様にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から市政各般におきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

去年は、大阪北部地震や台風21号の上陸などにより、本市にも今までにない被害をおよぼした自然災害が発生し、危機管理に対する関心がより一層高まった一年となりました。

本市におきましては、去年の4月に大枝公園の西側エリアがリニューアルオープンいたしました。今年は東側エリアのオープンも予定しており、憩いの場・潤いの場として多くの市民の皆様にご利用いただくことで、^{かんきょうとし}歓響都市もりぐちの一翼を担うものと期待しております。

さて、本市の財政状況におきましては、一般会計の実質収支は黒字であり健全性を確保しているものの、扶助費等を含めた、歳出に占める義務的経費の割合は依然として高い状況であります。また、中・長期的には、過去に整備し老朽化が進む社会資本や公共施設の維持や更新に伴う経費が今後も増加することが見込まれることから、決して現状に甘んじることなく、市政運営に取り組んでいかななくてはならないと考えております。

このような中、今年度の後半から次年度にかけては、平成29年2月に策定した「(改訂版)もりぐち改革ビジョン(案)」の中間年にあたることから、ビジョンに掲げているものの、いまだ未着手、未完了の「都市環境」、「教育・子育て・福祉」、「市民協働」のレベルアップを必ず実行に移してまいりまいます。

本市といたしましては、「すべての市民が夢と希望を抱き、子どもたちの笑顔があふれるまち」の実現に向け、鋭意取り組んでまいりまいますので、皆様には、より一層の市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとりまして、幸多く実りのある一年となりますよう、祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



守口市長 西端 勝樹